資料－３

子吉川圏域水災害対策プロジェクトの策定

子吉川圏域　水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

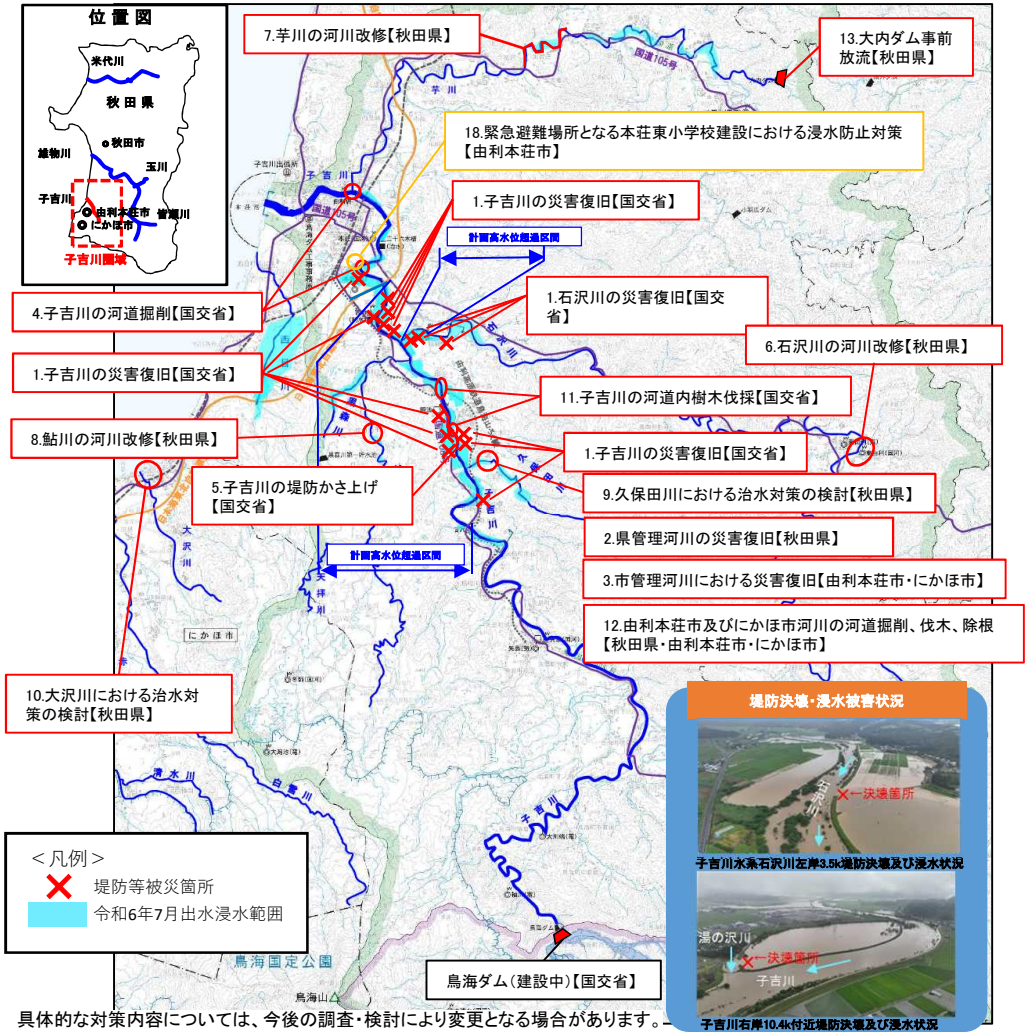
○ 子吉川及び支川石沢川においては、令和6年7月24日からの大雨により、計画高水位を超過し、堤防決壊や堤防越水などにより甚大な被害が発生したことを踏まえ、国、県、市等が連携し、河川整備及び災害復旧等を緊急的に実施。

○ 令和10年度までのプロジェクトとして、令和6年7月と同規模の洪水に対し、由利本荘市中心市街地の治水安全度を保持しながら子吉川中流域における浸水被害の軽減を図る。

○ また、気候変動による更なる降雨量の増大に対応するため、河川整備計画の見直しを図る。

○ 子吉川圏域各河川においても災害復旧に加え、河川整備を緊急的に実施し、浸水被害の軽減を図る。

○ その後も、子吉川では令和14年度までに鳥海ダム完成により、令和6年7月と同規模洪水及び戦後最大規模洪水における床上浸水被害の解消を図る。



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

■事業期間　令和6年度　～　令和10年度

■事　業　費　国：約60億円程度、県：約20億円程度　※県事業費は災害復旧費のみ計上

■目　　標　令和10年度までのプロジェクトとして、令和6年7月と同規模の洪水に対し、由利本荘市中心市街地の治水安全度を保持しながら子吉川中流域における浸水被害の軽減を図る。
子吉川圏域各河川においても災害復旧に加え、河川整備を緊急的に実施し、浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策
1～13は左図参照
14.砂防堰堤の整備【秋田県】

○集水域での対策
15.田んぼダムの取組に向けた普及・啓発活動【秋田県】
16森林の整備及び保全【林野庁・秋田県・由利本荘市・にかほ市・森林整備センター】
17.農業用廃ため池を活用した流出調整の検討【由利本荘市】

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策
18.緊急避難場所となる本荘東小学校建設における浸水防止対策【由利本荘市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策
19.水害リスク空白域の解消（洪水浸水想定区域図作成）【秋田県】
20.水防体制の整備・強化（危機管理型水位計及び河川監視カメラ設置）【秋田県】
21.内水浸水想定区域図作成【由利本荘市】
22.雨水管理総合計画作成【由利本荘市】
23.洪水浸水ハザードマップによる水害リスクの周知【由利本荘市・にかほ市】
24.浸水センサ等を活用した安全・安心の町づくりの推進【にかほ市】
25.自然災害伝承リーフレット作成【国交省】



R6子吉川圏域水災害対策プロジェクト　策定スケジュール

令和6年 8月9日（金）	第1回勉強会（キックオフ）	・各機関における被害状況の取りまとめ結果 ・年内の取組予定について（スケジュール）
令和6年 8月22日（木）	子吉川圏域流域治水協議会（第９回）	・出水概要及び被害の状況について ・意見交換
令和6年 9月25日（水）	第２回　勉強会	・出水被害状況検証、治水対策方針の確認 ・治水対策の目標検討、治水対策メニュー案の抽出
令和6年 10月15日（火）	第３回　勉強会	・目標抽出 ・プロジェクト素案（たたき台）提示
令和6年 11月7日(木)	第４回　作業部会	・治水対策の目標、治水対策メニュー案の確認
令和6年 11月27日（水）	子吉川圏域流域治水協議会（第１０回）	・水災害対策プロジェクト（案）提示・公表 ※事業費無し
	子吉川圏域水災害対策プロジェクト公表（メニューのみ）	
令和6年 12月16日（月）	子吉川圏域流域治水協議会（第１１回）【書面開催】	・水災害対策プロジェクト事業費 掲載・公表に伴う書面審議
令和6年 12月18日（水）	子吉川圏域水災害対策プロジェクト公表（事業費掲載版）	

第9回　子吉川圏域　流域治水協議会　開催概要

令和6年8月22日
秋田河川国道事務所

1. 概要

〇子吉川では令和6年7月25日からの大雨により、堤防の決壊や越水による氾濫被害が発生したことを踏まえ、子吉川流域の「流域治水対策」を集中的に推進するため、流域治水協議会を緊急開催。今後、早期に子吉川圏域緊急治水対策プロジェクト策定のため、関係機関等と更なる連携を図ることを共有した。

2. 開催日／実施状況

■日　　時：令和6年8月22日（木）　14：00～15：30
■場　　所：由利本荘市消防本部4F　大会議室
■出席者 ：由利本荘市長、にかほ市長、林野庁東北森林管理局由利森林管理署長、気象庁秋田地方気象台長（水害対策気象官）
　　秋田県総務部危機管理監、秋田県農林水産部長（次長）、秋田県建設部長、秋田大学名誉教授　松冨英夫
　　東北地方整備局河川部長、鳥海ダム工事事務所長、秋田河川国道事務所長

協議会内容

■議事内容
（1）令和6年7月25日からの大雨による出水の概要及び国管理河川の被害状況
（2）由利地域振興局管内における県管理河川の被害状況について
（3）由利本荘市における洪水被害等の状況について
（4）にかほ市における洪水被害等の状況について
（5）その他　鳥海ダム建設事業の現状と今回の洪水被害に対する効果について
■意見交換
■情報提供
今後の流域治水対策プロジェクトのスケジュール案について



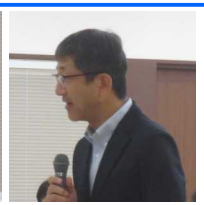
９の関係機関と学識経験者の松冨先生、オブザーバーとして河川部長が参加

会場全景（由利本荘市消防本部　会議室）


湊由利本荘市長


市川にかほ市長


秋田大学
松冨名誉教授


林河川部長


秋田県
川辺建設部長


秋田県
菅生危機管理監


沢田鳥海ダム
工事事務所長


松本
事務所長

3. 意見交換　主なコメント等

【学識経験者　松冨秋田大学名誉教授より】
・今後の流域治水対策を進める上で、今回の堤防決壊を契機とし、強靭な堤防等の検討が必要。また、雨の規模や今回の洪水以外の降雨パターン等も視野に検討してほしい。内水対策も必要であれば検討してほしい。流域治水は管理者や住民みんなで意識し準備しておくことが重要。
【由利本荘市長より】
・今回の出水対応では国から河川の状況を共有していただき、迅速に避難情報を発令できた。緊急時の対応ではマンパワー不足を感じたことから、今後各関係機関とのさらなる連携・情報共有等が不可欠のため、引き続き協力をお願いする。
【にかほ市長より】
・県の河川改修の効果を実感した。気象台の情報とハザードマップが避難情報発令に有効だった。６月に実施した避難訓練が生かせたことから、日頃からの備えの大切さを深く認識した。
【東北地方整備局　河川部長より】
・地域特性にあった流域治水の考え方・検討が必要。

第10回　子吉川圏域　流域治水協議会　開催概要

令和6年11月27日
秋田河川国道事務所

1. 概要

〇子吉川では令和6年7月からの大雨により、堤防の決壊や越水による氾濫被害が発生したことを踏まえ、今次洪水と同規模の降雨で発生しうる浸水被害を軽減させるための治水対策として、あらゆる関係機関と協働して緊急的に行う「水災害対策プロジェクト（案）」について議論し、内容について了承されました。

2. 開催日／実施状況

■日　　時：令和6年11月27日（水）　14：00～15：30
■場　　所：由利本荘市役所本庁4F　正庁
■出席者 ：由利本荘市長、にかほ市長、農林水産省東北農政局　西奥羽土地改良調査管理事務所長、林野庁東北森林管理局　由利森林管理署長、森林整備センター東北北海道整備局長（秋田水源林整備事務所長）、気象庁秋田地方気象台長、秋田県総務部危機管理監（総合防災課政策監）、秋田県農林水産部長（次長）、秋田県建設部長（建設産業振興統括監）、秋田大学名誉教授　松冨英夫、
東北地方整備局河川部長【Web会議にて参加】、鳥海ダム工事事務所長（副所長）、秋田河川国道事務所長　　※（）は代理出席

3. 協議会での主なコメント等

【学識経験者　松冨秋田大学名誉教授より】
・子吉川の中流域の被害軽減に向けて、理にかなった計画となった。但し、現在の災害情報の伝達は外水氾濫が中心。内水氾濫も考慮する必要があり、伝え方について検討が必要になる。
【由利本荘市長より】
・ソフト対策においてもハザードマップや自主防衛組織の構築等、ハード・ソフトの両面で災害に備えた対策を推進する。
【にかほ市長より】
・ハザードマップを策定し市民の方々に地域のリスクを周知していただく、浸水状況などが早期に把握できるような仕組みづくりを行って、避難情報の伝達につなげたい。
【秋田地方気象台長より】
・今回の鳥海山周辺での降雨は観測史上最高を記録。今後も地球温暖化の影響により今回の大雨を超えるような降雨が発生すると考えていただきたい。
【西奥羽土地改良調査管理事務所長より】
田んぼダムについて流域治水対策のため、今後も推進・普及していく。
【由利森林管理署長より】
森林整備及び保全について引き続き実施し、各関係機関とより一層の関係を築き、流域治水を推進していく。

11の関係機関、学識経験者の松冨先生が参加



協議会開催状況（由利本荘市本庁4F正庁）


林河川部長


湊由利本荘市長


市川にかほ市長


秋田大学
松冨名誉教授


山本
秋田地方気象台長


渡辺西奥羽土地改良
調査管理事務所長


柏木
由利森林管理署長


松本
事務所長


小野
秋田県建設部長代理